

2017年6月29日

世界銀行によるパンデミック緊急ファシリティ (Pandemic Emergency Financing Facility) への参画について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、世界銀行によるパンデミック（※）緊急ファシリティ（英文正式名称：Pandemic Emergency Financing Facility、以下「PEF」）に参画することになりましたのでお知らせします。

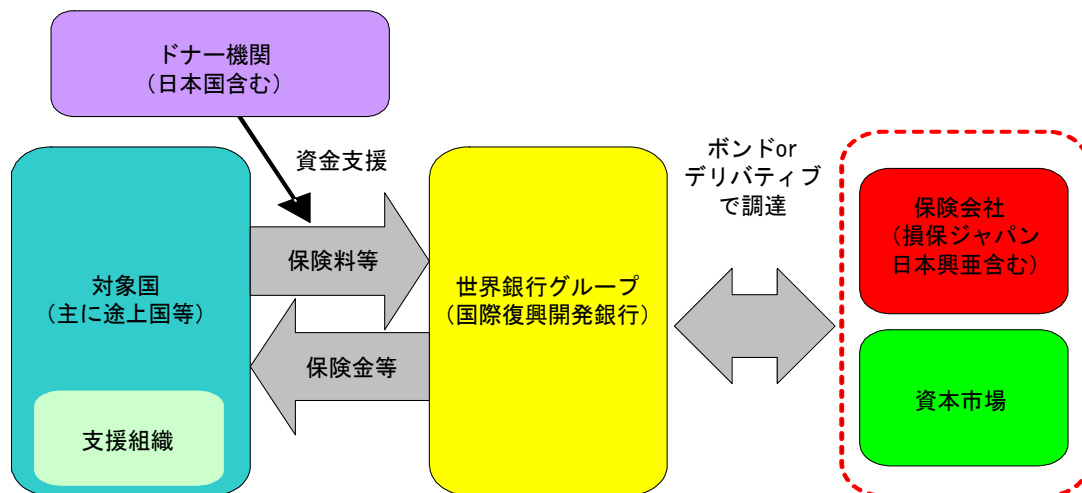
※ パンデミックとは、ある感染症（特に伝染病）が、顕著な感染や死亡被害が著しい事態を想定した世界的な感染の流行をいいます。

1. 背景・目的

世界銀行は、致死的な感染症の蔓延を回避するため、迅速に資金を供給できる革新的なグローバル・メカニズムであるPEFの発足を昨日発表しました。感染症が発生した場合、PEFから即座に、対象国や支援組織に対して資金が提供されます。

2. 概要

世界銀行は、キャットボンドやデリバティブを活用することでPEFの資金の裏付けとしており、損保ジャパン日本興亜は、デリバティブ取引にてPEFをサポートしています。



3. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、保険会社として蓄積してきた経験やノウハウを活かして、今後も途上国が抱える社会的課題の解決に貢献していきます。

【ご参考】

世界銀行のプレスリリース

<http://www.worldbank.org/ja/news/press-release/2017/06/29/world-bank-launches-first-ever-pandemic-bonds-to-support-500-million-pandemic-emergenc>